



***** ご案内 *****

下記のとおりセンシング技術応用研究会の研究例会を開催いたします。

研究例会のご参加は事前申し込みが必要です。11月6日(火)までに事務局までお申し込み下さい。
 多数お誘い合わせの上ご来会下さいますようお願い申し上げます。

研究例会参加費：会員 無料、非会員 ¥8,000

記

日時 平成30年11月12日(月) 13:30~16:35

場所 大阪産業技術研究所 森之宮センター 小講堂

大阪市城東区森之宮1丁目6番50号 TEL: 06-6963-8181

アクセス JR大阪環状線(北口)または大阪市営地下鉄中央線・長堀鶴見緑地線森ノ宮駅(4番出口)下車。中央大通を東に約350m(徒歩約5分)「森ノ宮公園住宅前」を左折し北に約350m(徒歩約5分)

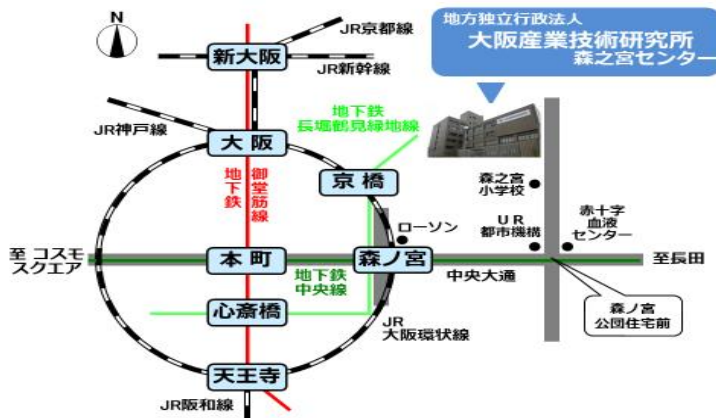
主催 センシング技術応用研究会

連絡先・申込先 センシング技術応用研究会 事務局

TEL:0725-51-2534 FAX:0725-51-2597 E-mail:sstj@dantai.tri-osaka.jp

※参加者名、会社名・学校名、連絡先住所、電話番号をご記入の上、事務局宛メールまたはFAXでお申込みください。

JR・地下鉄「森ノ宮」駅下車(JR北口・地下鉄4番出口)
 中央大通を経て北東へ、徒歩10分



研究例会 (13:30~16:35)

一講演 (13:30~14:30)

「データ同化研究-ゲリラ豪雨予測からその先へ-」

理化学研究所 計算科学研究センター データ同化研究チーム
 チームリーダー 三好 建正 氏

天気予報の要となるのは、シミュレーションと実測データを融合するデータ同化という科学分野。私たちは、データ同化を高度に探求し、これまで困難だったゲリラ豪雨の予測を可能にしました。データ同化は様々な分野への応用が広がり始めています。

一講演 (14:30~15:30)

「センシングの世界から眺めるAI技術」

オムロンサイニックス株式会社

代表取締役社長 諏訪 正樹 氏

最近話題の「AI」は(拡大解釈も含め)多様な意味合いを持つようになってきてはいるものの、その実用化は急速に広がってきています。本講演ではセンシング技術という立場から自身の開発経験を通じてAI技術をどのように捉えどのように活用してきたかを紹介致します。またセンシング技術から見たAI技術への期待や将来展望について述べます。

一休憩 (15:30~15:50)

一製品紹介 (15:50~16:35)

「センサデータの活かし方~MATLAB®によるAIの実践的活用~」

マズワークス合同会社 アプリケーションエンジニア部
 シニアアプリケーションエンジニア 井上 道雄 氏

センサデータ(カメラ、加速度センサー等)からの異常検出/故障予測を実現するAI活用実例や、代表的なデータの前処理方法、そして機器の残り寿命を予測する手法まで、実践的なテクニックをご紹介します。

一交流会 (17:00~18:30)

ベジ畑 カフェ小町 森ノ宮

大阪市中央区森ノ宮中央1-14-1 2F TEL:06-6945-0831 <参加費:3000円>